

登録日 2022/10/11

登録番号 Cer021

腫瘍名 子宮頸がん

申請診療科 産婦人科

投与スケジュール

PTX+CDDP+Pembrolizumab			21日毎 × 6コース 7コース目から維持療法					
			1コース				2コース	(day)
			1	2	3	4	22	...
アプレピタント	内服		↓	↓	↓		↓	
(Day1:125mg, Day2:80mg, Day3:80mg)								
投与確定後に服用								
デカドロン	8 mg	内服		↓	↓	↓		
① 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓				↓	
(プライミング用)								
② キイトルーダ	200 mg/body	点滴 30分	↓				↓	
生理食塩水 100 mL								
③ 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓				↓	
(キイトルーダ用フラッシュ) (全開)								
④ デキサート	19.8 mg	点滴 15分	↓				↓	
パロノセトロン 0.75 mg								
ボララミン 5 mg								
ファモチジン 20 mg								
生理食塩水 50 mL								
⑤ バクリタキセル	175 mg/㎡	点滴 180分	↓				↓	
5%ブドウ糖 500 mL								
⑥ シスプラチン	50 mg/㎡	点滴 120分	↓				↓	
生理食塩水 500 mL								
⑦ 生理食塩水	500 mL	点滴 120分	↓	↓			↓	
⑧ ソルデム3A	500 mL	点滴 120分	↓	↓			↓	
⑨ 生理食塩水	500 mL	点滴 120分	↓	↓			↓	
⑩ ソルデム3A	500 mL	点滴 120分		↓			↓	
⑪ ヘパフラッシュ	500 単位		↓	↓			↓	
ヘパロゲ用								

Pembrolizumab 維持療法			7コース					8コース	(day)
			1	2	3	4	22	...	
① 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓				↓		
(プライミング用)									
② キイトルーダ	200 mg/body	点滴 30分	↓				↓		
生理食塩水 100 mL									
③ 生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓				↓		
(キイトルーダ用フラッシュ) (全開)									

注意事項

- 【適応】進行・再発子宮頸癌(PD-L1発現率(CPS)を測定し、CPSが1未満の場合は他の治療選択肢も考慮すること)
- ・Day1のアプレピタントは投与確定後に服用
- ・キイトルーダ及びバクリタキセルはインラインフィルターを使用。
- ・同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。
- ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照
- ・シスプラチン投与終了4時間後、尿量1L以下は、ソルアセトF500mLおよびラシックス1Aを使用する。

参考文献

- 1) New Engl J Med, 385, 1856-1867 (2021).
- 2) 各添付文書(キイトルーダ2022年9月改訂版、バクリタキセル2020年4月改訂版、カルボプラチン2022年改訂版、アバステン2022年6月改訂版)
- 3) 最適使用推進ガイドライン ペムブロリズマブ 子宮頸癌 令和4年9月版